

学校法人理知の杜
豊橋日本語学校

令和4年度
自己点検・評価

実施：令和5年4月1日

当校は、日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号および日本語教育機関の告示基準解釈指針に基づき、自己点検及び評価を行い、報告書として本書を作成し公表する。

報告書の作成に当たり、自己点検・評価項目のリストは、日本語教育振興協会の「日本語教育機関のための自己点検・評価項目（改訂版）」（平成29年5月29日）を参考にした。

各点検・評価項目は以下の5段階で評価を行う。

A：「達成されている」若しくは「適合している」

B：「概ね達成されている（適合している）が、不十分なところが残っている」

C：「未達成（未適合）」だが、「達成」若しくは「適合」になるために取り組んでいる

D：「未達成」若しくは「適合していない」今後の課題である

X：該当しない

1. 理念・教育目標

1-1 理念、及び教育目標
国際化社会においてはさらなるグローバル化が進んでいるが、その中で必要不可欠なことは、国家間の平和的かつ友好的な関係の構築であり、民間（一般）レベルでの深い相互理解もその一端を荷っていると考えている。日本語の修得を希望する海外の優秀な人材を受け入れ、日本語教育を通して日本に対する深い理解と深い相互理解の下に国際交流がはかれる人材を育成し、日本のこれからの発展に貢献できる人材を育てる。
1-2 育成する人材像
日本語で「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを修得し、不自由なくコミュニケーションが図れるような能力を育成すると同時に、日本の「文化」「習慣」等も教授し、日本に対する深い理解を持てるような人材を育成したい。

[A]1-3 理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されているか。

[A]1-4 理念・教育目標が社会の要請に合致しているか。

まとめ	課題及び改善内容
教職員、学生に周知されている。学生には、「学校の5つの願い」として教室に掲げ、理念・教育目標を意識させている。また、ホームページに掲載をして学外にも発信している。	教職員、学生の受け止めの状況を把握しながら、上記理念、教育目標に沿った教育活動に一層取り組んでいきたい。

2. 学校運営

[A]2-1 理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。

[A]2-2 組織運営や人事、財務管理の規定が整備されているか。

[B]2-3 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか。

[A]2-4 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか。

[A]2-5 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあるか。

[B]2-6 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか。

[A]2-7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。

[A]2-8 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか。

[B]2-9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われているか。

まとめ	課題及び改善内容
策定された方針や計画に沿って組織的な学校運営を進めている。外部からの情報は適切に共有している。コンプライアンス意識を高めるための取組を随時行ってきた。	効率的な運営のために業務の見直しや分担の見直しを一層積極的に進めていきたい。

3. 教育活動

(1) 教育活動の計画

- [A]3-1-1 日本語教育機関の告示基準が守られているか。
- [A]3-1-2 理念・教育目標に合致したコース設定をしていて、教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成されているか。
- [A]3-1-3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか。
- [A]3-1-4 教育目標に合致した教材を選定しているか。
- [A]3-1-5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか。
- [A]3-1-6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。

まとめ	課題及び改善内容
教育課程について、よりよいものにすべく検討を重ねてきた。使用教材についても厳選し選定してきた。	今後もカリキュラムの編成について「日本語教育の参照枠」をベースにしてより良いものにしていきたい。

(2) 教育活動の実施

- [A]3-2-1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。
- [A]3-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴、その他、指導に必要な情報を伝達している。
- [A]3-2-3 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。
- [A]3-2-4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか。
- [A]3-2-5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っているか。
- [B]3-2-6 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。

まとめ	課題及び改善内容
授業記録及び出席簿を有効に活用して、学生の学習状況の把握に努めた。	学生のニーズを把握し、対応できるようにさらに工夫したい。また、常に学習目標を意識した指導ができるように教員の力量向上を図っていきたい。

(3) 教育活動を担う教職員

- [A]3-3-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか。
- [A]3-3-3 教員の指導力向上のための取り組みを行っているか。
- [B]3-3-4 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-5 入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-6 出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しているか。
- [A]3-3-7 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか。

[B]3-3-8 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。

[A]3-3-9 教員及び職員の評価を適切に行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
限られた人数ではあるが、役割分担、協力体制の見直しを1つずつ進めてきた。	教員のさらなる指導力向上等のため、定期的に研修を行っていききたい。

4. 学修成果

(1) 成績判定と授業評価

[A]4-1-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われているか。

[A]4-1-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか。

[A]4-1-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。

[B]4-1-4 学生による授業評価を定期的に行っているか。

[B]4-1-5 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されているか。

まとめ	課題及び改善内容
定期的なテストを中心に成績判定を適切に行ってきた。学生による授業評価が十分でない。	定期的に学生による授業評価を実施し、教員の授業能力の改善につなげたい。

(2) 教育成果

[A]4-2-1 入学から修了・卒業までの学習成果を記録、保管し、適正に管理しているか。

[A]4-2-2 修了・卒業の判定を適切に行っているか。

[A]4-2-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。

[A]4-2-4 卒業又は修了後の進路を把握しているか。

[A]4-2-5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先等での状況や社会的評価を把握しているか。

まとめ	課題及び改善内容
成績等の記録は適正に保管できている。	今後も進学先等の状況をしっかり把握していくことを継続する。

(3) 進路に関する支援

[A]4-3-1 学生の希望する進路を適切に把握しているか。

[A]4-3-2 進学等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。

[A]4-3-3 入学時から一貫した進路指導を行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
今年度も卒業した全員が進路希望に沿った進路選択ができた。入学時から担任教員による丁寧な進路指導を実施している。	学生には、経費支弁者に学費面について伝えるように言っているが、どこまで伝わっているか定かではない。再度学校

	から直接経費支弁者に情報提供する方法について考えていきたい。
--	--------------------------------

5. 学生支援

(1) 学生支援

- [A]5-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか。
- [A]5-1-2 学習相談に対する支援体制が整備されているか。
- [A]5-1-3 進路に対する支援体制が整備されているか。
- [B]5-1-4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に日本での生活指導等の支援体制が整備されているか。
- [A]5-1-5 住居支援を行っているか。
- [A]5-1-6 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。
- [A]5-1-7 健康管理、衛生管理について支援する体制を整えているか。
- [A]5-1-8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入しているか。
- [A]5-1-9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めているか。
- [A]5-1-10 交通事故等の相談体制を整備しているか。
- [B]5-1-12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に行っているか。
- [A]5-1-13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか。

まとめ	課題及び改善内容
常に学生に寄り添った支援体制を進めてきた。	学校での避難訓練だけでなく、宿舎での避難訓練も実施していきたい。

(2) 入国・在留に関する指導及び支援

- [A]5-2-1 入管事務担当者は、研修受講等により適切な情報取得を行っているか。
- [A]5-2-2 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか。
- [A]5-2-3 在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか。
- [A]5-2-4 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか。
- [A]5-2-5 過去2年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。

まとめ	課題及び改善内容
在留管理上の問題がある学生はいない。	今後もきめ細かな在留管理に努めたい。

6. 教育環境

- [A]6-1 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。
- [A]6-2 教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」及び「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。

[A]6-3 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。

[B]6-4 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか。

[A]6-5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。

[A]6-6 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレを設置しているか。

[A]6-7 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。

まとめ	課題及び改善内容
限られたスペースを最大限活用して、安心・安全な教育環境づくりを目指している。感染症対策に力を注いできた。	図書室を利用する学生が少ないため、学生のより一層興味をひく魅力的な図書を取りそろえたい。

7. 入学者の募集と選考

[A]7-1 入学者の募集は、学生の受入方針に基づき適切に行われているか。

[B]7-3 入学志願者に本校の学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件等が正確に伝えられているか。

[B]7-4 海外の募集代理人（エージェント等）に正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。

[A]7-5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っているか。

[A]7-6 入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか。

[A]7-7 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。

[A]7-8 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されているか。

まとめ	課題及び改善内容
開校後4年を経過したが、まだまだ応募してくる学生の国に偏りが見られる。各国エージェントへの周知が十分であるとは言えない。	多国籍の学習環境が作れるよう、募集活動の幅を広げたい。

8. 財務

[A]8-1 財務状況は、中長期的に安定しているか。

[A]8-2 予算・収支計画の有効かつ妥当なものとなっているか。

[A]8-3 適正な会計監査が実施されている。

[A]8-4 財務情報の公開の体制はできているか。

まとめ	課題及び改善内容
本部との密接な関係をもとに、適切な予算とともに収支計画を推進している。	本部との連絡・相談・報告を一層確実に行っていききたい。

9. 法令遵守

[A]9-1 出入国管理及び難民認定法令等の遵守と適切な運営がなされているか。

[A]9-2 個人情報保護のための対策をとっているか。

[A]9-3 地方出入国在留管理局, その他関係官公庁等への届出, 報告を遅滞なく行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
法令を遵守して適切に運営している。届け出、報告についても遅滞なく行っている。	より一層法令遵守に留意して, 適切な状況を維持したい。

10. 地域貢献・社会貢献

[B]10-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

[B]10-2 学生ボランティア活動への支援を行っているか。

[C]10-3 公開講座等を実施しているか。

まとめ	課題及び改善内容
感染症対策もあり、他者の受け入れや学生を様々なところへ行かせるということはあまりしてこなかった。	地域貢献という視点で地域の方との触れ合いをさらに進めていきたい。